

民俗目次

第三篇 民俗

はじめに―民俗豊かな里―…………… 3

第一章 年中行事…………… 7

はじめに…………… 7

第一節 正月行事…………… 7

一 すす払い…………… 8

二 松迎え…………… 8

三 しめ縄作り…………… 9

四 餅つき…………… 10

五 お飾り…………… 10

六 大晦日…………… 12

七 元日…………… 14

八 仕事始め…………… 15

九	棚もとさがし	16
一〇	かにどし	16
一一	七草	17
一二	物作り	17
一三	どんどん焼き	18
一四	山の神祭り	19
一五	鬼の目玉	20
	第二節 春の行事	21
一	節分	21
二	道祖神祭り	22
三	初午	23
四	やしょうま	24
五	ひな祭り	24
六	彼岸と彼岸念仏	26
七	天神講	26
八	みそ仕入れ	27
九	鎮守の祭り	27
	第三節 夏の行事	28

一	端午の節句	28
二	山の口	30
三	田植え	30
四	農休み	31
五	雨ごい	31
六	七夕	32
七	土用	33
八	お盆	34
九	夏祭り	36
第四節 秋・冬の行事		
一	一月見	37
二	村民体育祭	38
三	十日夜	38
四	かや刈りの山の口	39
五	えびす講	40
六	冬至	40
七	クリスマス	41

目次

第二章 人の一生……………43

第一節 誕生……………43

一 妊娠……………43

二 帯祝い……………44

三 安産祈願……………45

四 産屋・産婆……………47

五 ウブタキ飯……………50

六 ヘソの緒……………50

七 間びき……………51

八 お宮参り……………52

第二節 子育て……………53

一 名付け……………53

二 夜泣き……………54

三 子守……………55

四 火渡りと子ども……………56

五 いろいろ……………58

六 節句と七五三……………59

第三節 婚姻	63
一 見合い	63
二 たるいれ	64
三 婚礼の式	67
第四節 葬式と年忌	70
一 臨終	70
二 じゃんぼん	72
三 葬儀	73
第三章 衣食住	75
第一節 衣生活	75
一 男の野良着	75
1 ノラジバンとモモヒキ	75
2 かぶりもの	79
3 ハバキ	81
4 ワラジ	83
5 ハネゴウカケ	84
6 テポツカ	85

	二 女の野良着	86
	1 野良着	86
	2 マエカケ	88
	3 テッコウ	89
	4 かぶりもの	91
	三 晴れ着	92
	1 ウアギ	92
	2 オミヤマイリの着物	93
	3 婚礼の着物	94
	四 チヨイチヨイ着	95
	五 防寒着	96
	1 エリマキ	96
	2 ボウクウズキン	97
	3 ワタイレバンテン	97
	4 ソデナシ・ソデナシバンテン	98
	5 トンビ・ニシユウマワシ	98
	6 マント	98
	7 コート	98

8	ネンネコ	99
9	カメノコ	99
六	機織り	99
1	糸とり	100
2	綜る	100
3	箴どおし	101
4	ちきりへまく	101
5	かけ糸かけ	101
6	織りつけ	102
第二節	食生活	102
一	食事の風習	103
1	食事の支度	103
2	食事の作法と座	107
二	日々の食事	109
1	朝飯	109
2	昼御飯	110
3	弁当	111
4	夕飯	112

5	こびる・おやつ	114
三	祝いの日の食事	115
1	婚礼	115
2	赤飯	116
3	もち	118
4	だんご	120
四	仏事の食事	120
五	山野の幸	121
1	山菜	121
2	木の実・きのこ	124
3	鳥やけもの	125
4	魚・その他	126
六	調味料づくり	127
1	味噌づくり	127
2	しょう油づくり	130
七	食物の貯蔵	133
1	食料の貯蔵	133
第三節	住生活	137

一	露地づくり	137
二	囲炉裏	142
三	屋根	143
四	建築工程と儀礼	144
1	木出し	144
2	地鎮祭	145
3	胴突き	145
4	建前と棟上げ	146
5	屋根葺き	148
五	壁塗り	151
六	間取り	152
1	大とま口	152
2	土間	152
3	馬屋	153
4	台所	154
5	茶の間	154
6	座敷	155
7	オヘヤ	155

8	屋根裏部屋	156
9	味噌部屋	156
10	その他の部屋	156
七	センゲと井戸	157
八	風呂	160
第四章 生産・生業		
	はじめに	163
第一節 稲作り		
一	なえまづくり	164
二	刈敷き	167
三	代ふみ	168
四	あぜぬり	169
五	田植	170
六	田の草とりとみずみ	172
七	稲刈り	174
八	稲こき	175
九	精米	176

第二節 炭焼き	177
一 でのある武石の炭や薪	177
二 かまつき	178
三 いごや	180
四 炭焼き	181
五 炭俵づくり	183
1 かやの山の口明け	183
2 かや無尽	183
3 炭俵あみ	184
六 炭焼きと生活	186
1 仕事のきびしさ	186
2 山の神	188
第三節 薬用になんじん	189
一 土づくり	189
二 うねとりと土こし	190
1 うねの方向	190
2 土こし	191
三 種まき	192

1	種とり	192
2	芽出し	193
3	まきつけ	193
4	小屋がけ	194
5	にんじんのつくり方	195
6	手入れ	197
1	草とりと通路おこし	197
2	消毒	198
3	小屋の修理	198
4	盗難予防	198
7	収穫と販売	199
第五章 民間信仰と祭り		
第一節 ムラとイエの神		
1	イエの神	201
2	屋内の神	204
3	同族の祭り	205
4	生業の神	208

五	共同祈願	210
第二節	さまざまな講	212
一	代参講	212
二	村内講	216
第三節	民間の仏教信仰	217
一	築地原の地藏まつり	218
二	鳥屋の弥勒堂のまつり	221
三	一の瀬観音堂のまつり	225
四	赤いののさまとお文さま	226
第四節	祭りと芸能	227
一	子檀嶺神社御柱祭行事	227
二	一心祭と行者の修法	231
三	シシ宮と三頭獅子	235
四	牛石と笹焼明神	237
第六章	社会生活	239
第一節	ムラのしくみ	239
第二節	ムラの機能	242

第三節	年齢集団	248
第四節	家族と親類	254
第七章	交通・交易	261
第一節	交通	261
一	道のいろいろ	261
二	旅する人々	263
第二節	運搬	266
第三節	交易	269
一	村を訪れる商人	269
第四節	通信	273
第八章	口頭伝承	275
第一節	武石の伝説	275
一	美ヶ原の片石	275
二	お仙ヶ淵	276
三	金次郎様	277
四	社の中のお地蔵さん	278

五	一心行者	278
六	馬のしっぽ	280
七	しっこう加右衛門	281
八	ノリデの木	282
九	鬼李兵衛	283
一〇	狐山の狐	283
一一	赤岩	284
一二	弥勒堂	285
一三	飛魚の仙ヶ淵	285
一四	牛石	286
第二節 俗信		
一	子兆	287
1	天候に関する子兆	287
2	死に関する子兆	290
3	作柄に関する子兆	290
4	火事や変わりごとの子兆	291
5	旅立ち前の子兆	291
6	生まれる子の性別子兆	291

7	縁起に関する予兆	291
8	その他	292
二 禁忌		
1	日常生活のしつけやいましめに関する禁忌	292
2	死人に関する事からくる禁忌	294
3	その他	294
三 まじない		
1	病気に関するまじない	296
2	人事に関するまじない	296
3	その他のまじない	296
四 民間療法		
1	病気療法	297
2	民間薬	298
第三節 伝統の歌		
一	わらべ歌	300
1	子守歌	300
2	てまり歌	301
3	お手玉歌	301

4	羽根つき歌	302
5	縄とびの歌	302
6	その他の遊び歌	303
7	悪口歌	304
二	仕事の歌	304
	どろづき歌	304
三	祝儀歌	306
四	歳時の歌	306
1	七草の歌	306
2	どんどん焼きの歌	306
3	豆まきの歌	307
4	道祖神の歌	307
5	迎え盆の歌	307
6	送り盆の歌	307
7	十日夜の歌	307
	執筆委員	308
	協力者氏名	308